ワンタッチイベントテント

かんたんてんと3

取扱説明書

要保管

スチール+アルミ複合フレーム

KA/2W　KA/5W　KA/8W

オールアルミフレーム

KA/2WA　KA/5WA　KA/8WA

梱包内容

- ●本体フレーム…………×1　●本体収納バック………×1
- ●天幕……………………×1　●天幕収納袋……………×1
- ●ペグ……………………×6　●ペグ収納袋……………×1
- ●ロープ…………………×4　●六角レンチ……………×2

このたびは、本品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
安全にお使いいただくために、ご使用前に本取扱説明書をよくお読みの上、本書に掲げる使用方法に従い、
末永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。
またお読みになった後はいつでも取り出して読めるよう大切に保管してください。

本品を安全にお使いいただくために、下記の要領を必ずお守りください。
※なお、誤った取扱方法や使用状況、また改造等による破損・損害・事故、および経年劣化等による各部の劣化・損傷・サビや腐食の発生につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。

安全上のご注意

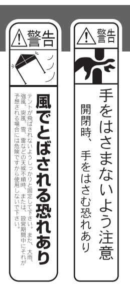
● シグナルマークの定義 ●

⚠警告　この指示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意　この指示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性、および物的損害が発生する可能性が想定される内容を示しています。

● 警告ラベルについて ●

本品のフレームには、右図のような警告ラベルが貼り付けられています。警告ラベルの貼り付け箇所を確認し、要項を守ってご使用ください。また、万一警告ラベルが剥がれてしまった場合は、ラベルをご購入いただき、再度貼り付けてください。



『警告ラベル』

使用条件

● 使 用 環 境 ●

⚠警告 ①大雨、強風、突風、雪、雷などの天候不順時、または設営期間中にそれが予想される場合には危険ですので使用しないでください。テント本体が倒れたり、飛ばされたり、水が溜まる等の恐れがある上、人が傷害を負ったり、物を破損させる原因となります。また、降雪時には雪が積もり倒壊する恐れがありますので使用しないでください。

⚠警告 ②使い勝手を良くする為、天幕には軽量で薄手の生地を使用しております。その為、過度の負担がかかる環境での設置や使用方法によりテントの寿命を著しく縮める場合がございますのでご了承ください。

● 用　途 ●

⚠警告 ①本品を常設用として使用しないでください。本品は、一時的かつ簡易的に使用することを目的とした構造となっているため、常設用として使用した場合、思わぬ事故につながる可能性があります。また、簡易目的用とした構造のため、完全な雨除けとしてはご利用いただけません。縫製部分より水が入る可能性がありますのでご了承ください。

⚠警告 ②本品を改造したり加工したりしないでください。改造・加工による本体の倒壊や、人が傷害を負ったり、物を破損させる恐れがあります。

⚠注意 ③本品には、絶対登らないでください。また、ぶら下がったり、物を吊したりする等、過度の負担を掛けるような行為はしないでください。倒壊や破損につながり非常に危険です。

● 取 扱 上 の 注 意 ●

⚠警告 ①設営時にはテントが水平になるように設置し、必ず「ロープ」と「ペグ」、または別売りの「砂袋」「加重プレート」「ウォーターウェイト」等でテント支柱を固定し、はりづなをしっかりと取り付けて下さい。また、固定した後も、突風による本体の倒壊や、人が傷害を負ったり、物を破損させる恐れがあります。

⚠警告 ②本品を使用の際は、無人で放置しないでください。思わぬ事故につながる恐れがあります。

⚠警告 ③本品に電源や火気類を近づけないでください。フレームには金属を使用しており、感電の危険があります。また、天幕の素材には、難燃性のポリエステルを使用しておりますが、破損や火災発生の原因となります。

⚠警告 ④ご使用の前に、本取扱説明書をご理解していただいた上で、必ず一度組み立てテストを行ってください。その際、付属品の不足、不良等が発見された場合は、お求めになった販売店へお申し付けください。また本テントの使用、保管はお客様にて管理して下さい。当社では一切責任を負いかねますので予めご了承下さい。

⚠警告 ⑤設営前に、設営場所が本取扱説明書の使用条件を満たしていることをご確認ください。

⚠警告 ⑥設営・収納作業時には、トラス部分（ジャバラ状の骨組み）、スライド部分、ストッパー部分に手や指をはさむ恐れがありますので、作業時は軍手等を着用し、ケガや事故のないよう十分に注意しながら作業を行ってください。

⚠警告 ⑦設営・収納作業は安全のため、必ず大人2人以上で行ってください。また、フレームを設営、撤収する際は負荷が掛かりますので、無理せずゆっくり行って下さい。変形や破損する恐れがあります。

⚠注意 ⑧本品は、鉄・アルミパイプを使用しているため、足元に落としたり、手や指等をはさむと大変危険です。取り扱いには十分ご注意ください。

⚠注意 ⑨テントは、たるみがなく「ピン」と張った状態で使用し、天幕に水が溜まらないよう十分に注意してください。天幕に水が溜まりますと、天幕の寿命を縮める他、フレームが曲がったり、倒壊の危険があります。

テントを収納する

※各部の名称は裏面の「各部材の名称」を参照してください。

1 ロープ先端に取り付けたペグ、またはパッドに打ち付けたペグをすべて抜き取ります。なお、風対策用品（加重プレート等のオプション品）をご使用の場合、または、ペグと併用してご使用の場合はこれを取り外します。

2 ロックアジャスターJ（右図、裏面「各部の名称」⑯参照）を押して、アウターレッグを一番下までスライドさせます。

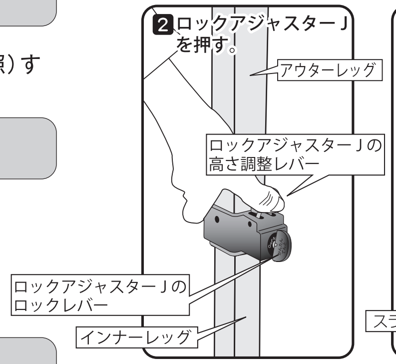
⚠注意
- ●アウターレッグとインナーレッグの連結部で手や指をはさむ恐れがあります。
  インナーレッグに触れないよう、アウターレッグの下部（スライダーＪ２Ｐ[もしくはＪ３Ｐ]から下）をしっかり持ち、ロックアジャスターJのロックが解除になっている事を確認した上で、ロックアジャスターJの高さ調整レバーを押し込み、ゆっくりと長さを縮めてください。
- ●バランスを崩してテントが倒れる恐れがあります。アウターレッグをスライドさせる際は、必ず四隅以外（中央の２本）から先に縮めていき、一辺に並んだ２本の脚を、同時に縮めてください。

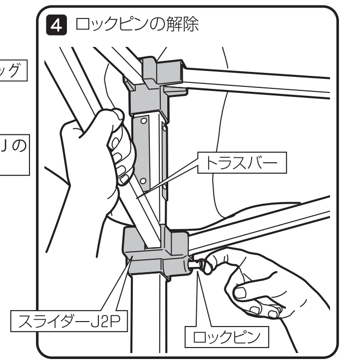
3 天幕に結んだロープをほどき、天幕内側の紐とロープを外します。

⚠注意
- ●天幕内側の紐は必ず外して下さい。天幕を破損したり、紐の劣化を早める原因となります。

4 四隅の天幕を少しめくり上げ、ロックピン（右図、裏面「各部の名称」⑲参照）すべてを引いて、ロックを解除してください。

⚠注意
- ●スライダーＪ２ＰもしくはＪ３Ｐにより手や指をはさむ恐れがあります。
  しっかりトラスバーを押さえ、ロックを解除してください。





5 マジックテープで固定された箇所をすべてはがし、天幕を取り外します。
※天幕は取り外して収納することで、摩耗による傷みも少なくなり長持ちします。

6 トラスバー下側のV字部分を持って、本体フレームを浮かせながらゆっくりと縮めてゆき、最後はアウターレッグを持って縮めます。

⚠注意
- ●トラスバー、アウターレッグ等により手や指をはさむ恐れがあります。
  本体フレームを縮める際は十分に注意を払い、ゆっくりと作業してください。

7 本体フレームは本体収納バック、天幕を天幕収納袋に収納し、付属品の数を確認してください。

メンテナンスについて

1.使用後は天幕と本体フレームの汚れを落とし、よく乾かしてから収納してください。天幕の汚れがひどくなると美観を損なう上、耐候性・耐久性も悪くなります。また定期的に中性洗剤の希釈水を使って汚れやクスミを拭き取り、天幕や本体フレームに洗剤が残らないように濡れ雑巾等で拭き仕上げをしてください。（シンナーやアルコール類は素材や生地を傷める原因となるので絶対に使用しないでください。）

2.塗装部のはがれやサビを発見した場合は、市販の補修用品で早期に塗装、補修を行ってください。

3.ボルト各部やネジ等、緩みがないか定期的にチェックを行い、緩みを見つけた場合は付属の六角レンチ等で締めつけてください。その際、締めすぎますと、ネジがからまわりして壊れるおそれがありますので、適度にしめて下さい。

4.天幕などの生地製品は経年劣化してきます。防水効果も低下しますので、市販の防水スプレーや目止剤を使い、定期的に塗布することをお薦めします。
また、キズや穴あきがある場合はシーラー剤等を使用して補修を行ってください。
天幕単品をお求めの場合は、別途お見積もり致します。詳しくは、お求めになった販売店へお問い合わせください。

5.天幕を濡れた状態や高温多湿な場所に長期保管されると、色うつりや、ひっついたりする事がございます。定期的に広げてメンテナンスを行って下さい。

保管場所について

●本品を保管の際は、直射日光を避け、雨のあたらないような風通しの良い湿気の少ない場所に保管してください。

仕　様

品番	サイズ	軒高	全高	収納サイズ	重量
KA/2W	1.8×3.6m	192～208cm	259～275cm	24×41×124cm	34.5kg
KA/5W	2.4×4.8m	192～208cm	277～293cm	24×41×124cm	43.5kg
KA/8W	3.0×6.0m	224～255cm	322～353cm	24×41×153cm	51.2kg
KA/2WA	1.8×3.6m	192～208cm	259～275cm	24×41×124cm	32.5kg
KA/5WA	2.4×4.8m	192～208cm	277～293cm	24×41×124cm	41.5kg
KA/8WA	3.0×6.0m	224～255cm	322～353cm	24×41×153cm	48.2kg

フレーム	スチール+アルミ複合フレーム 柱部　:アルミ角パイプ+アルマイトコーティング仕上げ トラスバー他　:硬質スチール+粉体焼付塗装仕上げ オールアルミフレーム 柱部・トラスバー・ピークポール・ピークストップ：アルミ角パイプ+アルマイトコーティング仕上げ
ジョイント	グラスファイバー+ナイロン6化合物
天幕素材	通常タイプ ポリエステル100%・500D [防水加工（裏面ポリウレタン塗布）、防炎加工、UVカット塗布処理済] メッシュタイプ ポリエステル100% [UVカット加工メッシュ生地　厚み0.69mm]
高さ調整	3段階調整【KA/2W・KA/2WA・KA/5W・KA/5WA】 5段階調整【KA/8W・KA/8WA】
付属品	本体収納バック、天幕収納袋、ペグ、ペグ収納袋、ロープ、六角レンチ
オプション	砂袋（15kg用）、加重プレート（10kg・20kg）、ウェイトバッグ（10kg用）、横幕(一方幕)、かんたんキャリー、補修テープ、張網セット、レインサポートベルト

http://www.sakuracorporation.com

SAKURA CORPORATION
株式会社さくらコーポレーション
本　　社:〒610-0342　京都府京田辺市松井宮田26-1　TEL 0774(65)4468 FAX 0774(65)4063
関東営業所:〒344-0026　埼玉県春日部市武里中野285-4　TEL 048(737)0171 FAX 048(737)0181

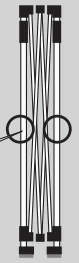
お問い合わせ、ご用命は……

テントの組立て方法

※写真は「KA/8W」を例に説明しています。テントの大きさや形状に違いはありますが、他の規格品も組立て手順は同じです。なお各部の名称は裏面「各部の名称」を参照してください。

1

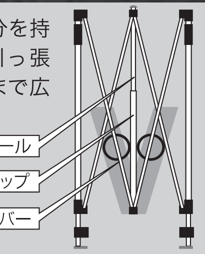
四隅のアウターレッグを持ち、少し浮かせながら左右に広げます。



▲注意 フレームが引っ掛かっている場合がございますので、無理に広げないで下さい。

2

トラスバー下側のV字部分を持ち上げながら、外側に引っ張り、本体フレームを半ばまで広げます。



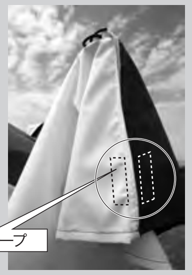
▲注意 ピークポールがピークストップから抜けていると、フレームは開きません。差し込まれているのを確認して下さい。

3

天幕を袋から出し、本体フレームにかぶせます。

4

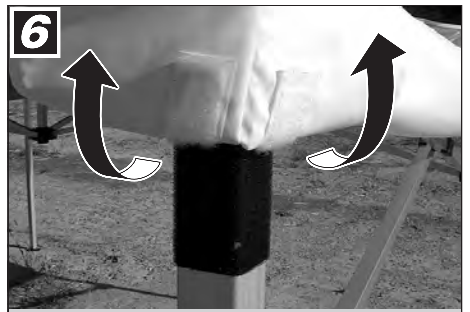
天幕と四隅のアウターレッグのマジックテープを合わせます。



5

トラスバー下側のV字部分を持ち上げながら、さらに外側へ引っ張り、本体フレームを最大まで広げます。

6



四隅の天幕を少しめくり上げます。

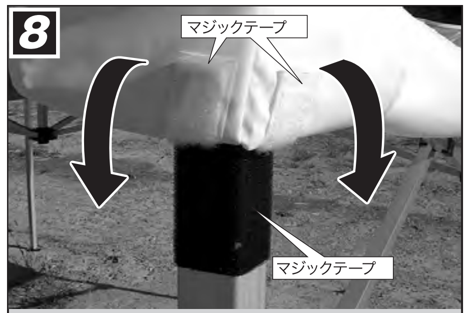
7

アウターレッグにあるすべてのスライダー(J2P及びJ3P)を、「パチン」と音がするまで押し上げます。

※ロックがかかりにくい場合は天幕の角を一度外してから押し上げてください。

▲注意 手や指をはさまないようご注意ください。

8



6 でめくり上げた天幕を戻し、天幕とアウターレッグのマジックテープを固定させます。なお中央2本のアウターレッグは下右の写真のようにマジックテープを巻き付けて固定します。

▲注意

天幕の四隅はしっかりと最後まで被せて下さい。天幕のたるみの原因となり、天幕の劣化を早めます。

9

ベース部(パッド)を足で踏みながら、両端のアウターレッグのロックアジャスターJに付属している「ロックレバー」が解除になっている事を確認した上で(写真1)、「高さ調整レバー」を押し込みながら(写真2)、アウターレッグを伸ばします。

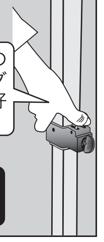
▲注意 必ず一辺に並んだアウターレッグを同時に持ち上げてください。

▲注意 ロックレバーのON-OFFの表示範囲を超えて、回すと破損する恐れがございますので、ご注意ください。

10

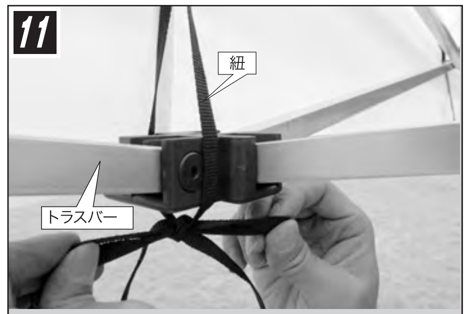
反対側のアウターレッグも同様に伸ばします。同じく中央のアウターレッグも伸ばします。

なお、テントの高さは、ロックアジャスターJの高さ調整レバーを押しながらアウターレッグを持ち上げ、伸ばすことで、3〜5段階のお好みの高さに調整することができます。



▲注意 脚はすべて同じ長さ(水平)に揃えてください。

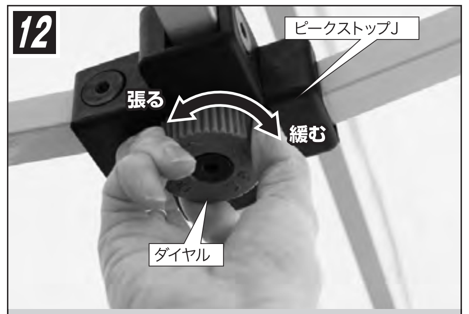
11



天幕の裏側についているすべての紐をトラスバーに結びつけます。

▲注意 縫製品の為、針穴が見える事がございます。又、縫製部分より水が入る事がございますのでご了承下さい。

12



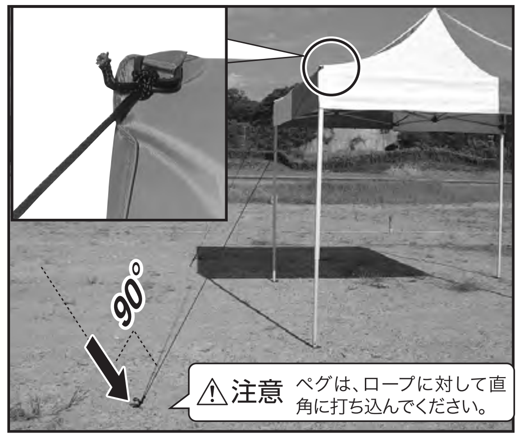
ピークストップの下についているダイヤルを回して、天幕の張り具合を調節します。

▲注意 テントは、たるみなく「ピン」と張った状態にセットしてください。

ここまで完成した時点で、次の事項を確認し、異常のある場合はテントのご使用を中止してください。
また対応につきましては、お求めになった販売店へお問い合わせ下さい。

- 天幕が破れている、フレームが曲がっている等の異常のある箇所はないですか?　※なお、ボルトが緩んでいる場合は、付属の六角レンチで締め直して下さい。
- 天幕と本体フレームの、マジックテープの貼り付き具合は弱くないですか?
- 天幕はたるみなく「ピン」と張れていますか?雨水が溜まりそうではありませんか?
- 本体フレームの各ストッパーが、きちんと固定されていますか?

テントを固定する

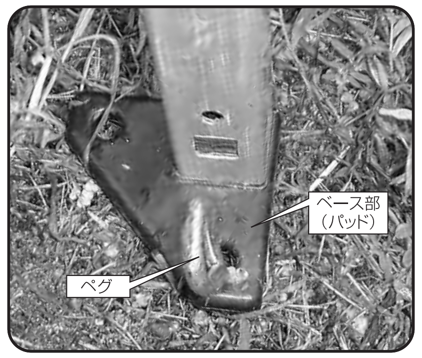


⚠注意 ペグは、ロープに対して直角に打ち込んでください。

天幕の四隅にあるプラスチックの留め具にしっかりとロープを結び、ペグをテントの対角線上にしっかり根元まで打ち込みます。

※四隅以外のアウターレッグには、ベース部の穴へ直接ペグを打ちます。

●ロープを張るスペースがない場合



ロープを張れるだけのスペースが無い場合は、ベース部(パッド)の穴に、直接ペグをしっかり打ち込みます。

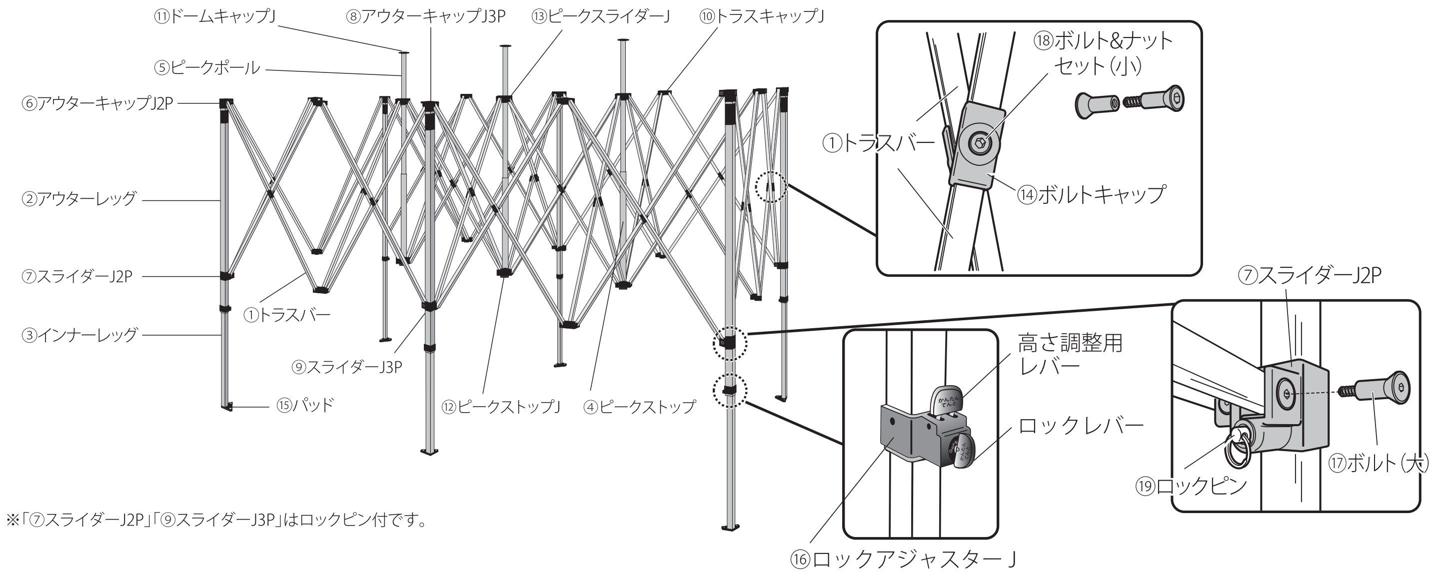
●固い地面や風対策に…

地面が固くペグを使用できない場合、またペグとの併用で風対策用に、「加重プレート」「砂袋」「ウォーターウェイト」等の別売オプション品をご利用ください。

加重プレート (10kg・20kg)	砂袋 (15kg用)	ウェイトバッグ (10kg用)
積み重ねが可能。2枚以上重ねるとより安全です。	1袋に約15分の砂を入れることができます。	水でも砂でも使用可能な風対策用品です。

⚠警告 強風などに煽られ、固定したペグやロープ、ウエイトが外れてしまい事故が起る恐れがあります。風対策用のウエイトを併用した場合でもけして過信はせず、悪天候時や天候の悪化が予想される場合、また突風が起こる可能性のある時は、テントの使用を中止してください。

各部の名称



※「⑦スライダーJ2P」「⑨スライダーJ3P」はロックピン付です。